



皆様のご支援のお陰で、2025年度事業計画により新しい試みも含めて順調に活動しています。

本号は2003年から継続している「水草バンクシステム訪問」の様子を中心に、上半期の活動をお知らせします。

・・・・・・NPO いんばの活動日誌：2025（令和7年度）・・・・・・

4月5日	水資源機構大和田機場にてお花見交流
5月9～10日	かっぱ公園、笠井記念水草園草刈り、整備
5月16日	マリーゴールドほか植え付け
5月25日	令和7年度 通常総会
6月12日	小竹小学校出前講座 4年生61名
6月14日	コスモス種まき
//	笠井記念水草園にてイヌタヌキモ繁茂・開花を確認
6月16～30日	ミウズフェスティバル 2025
6月19日	間野台小学校出前講座 5年生79名
7月26日	「親子で印旛沼体験」開催
7月31日	水草バンクシステム校訪問 志津・臼井地区 5校
8月1日	水草バンクシステム校訪問 佐倉地区 6校
8月21～23日	ナガエツルノゲイトウ除去 IVUSA 53名他
8月22日	ナガエツルノゲイトウ除去 社協こどもボランティア体験 6名
9月27日	間野台小による「水草をお里帰り」の準備
10月2日	間野台小5年生による「アサザの移植とモグリウムにインバモとイヌタヌキモを植え付け」TEIRE（水循環健全化会議による支援）

ナガエツルノゲイトウとは

ナガエツルノゲイトウは特定外来生物に指定されています。主に水辺で生息する「ヒユ科」の多年草で、河川、水路、水田などに生息し繁茂すると、稲の倒伏、減収、機械の作業性の低下に繋がります。ナガエツルノゲイトウは、繁殖力、再生力が強く、大群集になると駆除は極めて困難であり、早期発見・早期駆除が重要になります。

水草バンクシステム 小学校訪問

令和7年7月31日～8月1日



小竹

アサザの葉が大きく花数が多い。
トチカガミ共存。



志津

3か所の池で各種類ごとに生育。
インバモの花を4輪確認。
池のアオミドロをすくい除去。



王子台

落ち葉など清掃。
初めてイヌタヌキモ開花。
マツモ確認。



千代田

トチカガミ開花。
マツモ繁茂。
雑草の除去。



間野台

コガマを間引き。
お里帰りしたアサザ・インバモ
・イヌタヌキモを確認。



佐倉

印旛沼の形に似た池からトチカガミを
笠井記念舟戸水草園に移植。
アサザ・インバモ・イヌタヌキモを確認。



佐倉東

アサザが繁茂しコガマと良いバランス。
落ち葉などを取り除く。



和田

コガマの存在は意外であり原因不明。
トチカガミを間引く。
アサザ・インバモ・マツモ確認。



弥富

スイレンと共存。
アサザ・マツモ確認。



山王

池を覆うコガマを間引き。
アサザ・インバモ確認。



寺崎

アサザとインバモがバランス良い。



アサザの開花